

令和 6 年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

国語

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：国語

2 発行者：東京書籍

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・各教材のあとに「てびき(見通し・つかむ・読み深める・考えを持つ・振り返る)」が掲載されており、見通しをもって学習に取り組むことができる。
- ・各単元の目標達成のためのポイントについて要点がまとめて書かれており、簡潔に理解できるよう工夫されている。
- ・関連語句や語彙の紹介、短文の作文問題が設定されているため、学習の振り返りや復習に取り組みやすいよう配慮されている。

（2）組織・配列・分量

観点 ウ 全体の分量及び各領域の分量、配分は標準時数に照らし、無理なく指導できるよう配慮されている。

- ・読み物教材が1年は13編、2年は15編、3年は16編掲載されている。説明的文章は、1年3編、2年5編、3年4編で、3・4回に分けて学習する機会を設けている。
- ・説明的文章の種類は、1年では「説明文、記録文」、2年では「評論文、解説文、報告文」、3年では「評論文、論説文、報道文」と区別されている。
- ・教材の文は、6～9ページと情報量に応じて文章量が調整されている。

（3）児童生徒への配慮

観点 ア 児童生徒の心身の発達段階に適応し十分な理解を図ることができるものとなっている。

- ・各学年で学習が進むにつれて、身近な事象から他教科との関連がある内容、社会的事象など幅広いジャンルの読み物教材が設定されており、興味や関心、学びの意欲をもって読み進められるよう配慮されている。
- ・1年から2段組構成形式の文章にも読み親しむ配慮がある。
- ・読み進めることへの抵抗感をなくす工夫として、全ての教材に図や写真、グラフが適度に掲載され、必要に応じて箇条書きや項目立てがされている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：国語

2 発行者：三省堂

3 調査研究結果

(1) 内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・巻頭の「思考の方法」で、チャートによる可視化方法を複数示している。
- ・教材の後に掲載されている「学びの道しるべ」では、「思考の方法」の一つを活用し、学び直しと実践的に学べる設問を配置している。
- ・各教材に二次元コードを掲載し、学習端末を活用して参考資料や教材の読み方、漢字の学習などについて予習や学び直しができ、学びの個性化への配慮が見られる。

(2) 組織・配列・分量

観点 ウ 全体の分量及び各領域の分量、配分は標準時数に照らし、無理なく指導できるよう配慮されている。

- ・各学年とも読み物教材が16編ずつ、うち説明的文章が4編ずつ掲載されており、3回に分けて学習する機会を設けている。
- ・説明的文章の種類が、1年では「説明」、2・3年では「論説」と区別。
- ・教材文の長さは、各学年とも3～6ページが基本。3年の1教材のみ8ページ。行数や文字数で文章の長さを調節し、文章が長くなる3年でも、読むことへの抵抗感を減らすように配慮されている。

(3) 児童生徒への配慮

観点 ア 児童生徒の心身の発達段階に適応し十分な理解を図ることができるものとなっている。

- ・各学年とも、単元の初めに「読み方を学ぼう」を設け、その知識・技能を活用する教材を配置しており、既習事項を生かした学びができる。
- ・「学びの道しるべ」が、各教材の後に設定され、生徒は学習の見通しをもって学びに向かうことができ、予習や復習に役立てることができる。
- ・学習段階に応じた適切な教材を掲載し、段階的に必要となる読解力が高まるよう配慮されている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：国語

2 発行者：教育出版

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・各教材ごとに「学びナビ」「みちしるべ」が配置され、「学びナビ」では、生徒が見通しをもって学習することができる。また、既習事項を確認することもできる。
- ・「みちしるべ」では、目標を意識して学習に取り組んだり、振り返りをしたりして自分の学びを自覚することができるよう工夫されている。
- ・国語の学習用語をゴシック体で示し、意識して学習することができる。

（2）組織・配列・分量

観点 ウ 全体の分量及び各領域の分量、配分は標準時数に照らし、無理なく指導できるよう配慮されている。

- ・読み物教材が、1・2年で20編、3年で23編掲載されており、教材数が最も多い。そのうち、説明的文章は1年で5編、2・3年で4編となっており1・2年で4回、3年で3回に分けて学習する機会を設けている。
- ・説明的文章の種類は、1年では「説明」「報告」、2年では「説明」「評論」、3年では「論説」「評論」と区別されている。
- ・1年から教材文が5～8ページと長く、読むことに親しめる配慮がある。

（3）児童生徒への配慮

観点 ア 児童生徒の心身の発達段階に適応し十分な理解を図ることができるものとなっている。

- ・説明的文章に関わる教材は資料や写真が精選されており、生徒が文章から情報を読み取ることに集中できる配慮がされている。
- ・学習が進むに伴い、教材のテーマが具体から抽象的な内容へと難易度が高まり、生徒の読解力を段階的に高められるよう配慮されている。
- ・メディアを通して生徒が知っている著者の作品が、説明的文章にも複数年で掲載されており、興味をもって読めるように配慮されている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：国語

2 発行者：光村図書

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・各教材ごとに「学びへの扉」「学びのカギ」を掲載している。
- ・「学びへの扉」では、その単元の学習の道筋を示すことで、生徒が見通しをもって学習できるよう配慮されている。
- ・「学びのカギ」には、その単元で身に付けるべき資質・能力を明示している。また、他の単元で身につける力との関連や、現在の学習段階が可視化できるように工夫されている。

（2）組織・配列・分量

観点 ウ 全体の分量及び各領域の分量、配分は標準時数に照らし、無理なく指導できるよう配慮されている。

- ・読み物教材は各学年18～19編、説明的文章は1年で4編、2・3年で各3編掲載。
- ・説明的文章の種類は、1年では「説明」「記録」「意見」、2年では「報告」「論説」「評論」3年では「論説」「評論」と区別されている。
- ・教材文の長さは、1年の最初の単元で2教材、それぞれ3、4ページである以外は、どの単元も6～8ページ程度。1年生の教材は表や写真を多く掲載し、1ページの字数を少なく見せ、読む負担感を軽減している。

（3）児童生徒への配慮

観点 ア 児童生徒の心身の発達段階に適応し十分な理解を図ることができるものとなっている。

- ・教材文で扱う内容が、1年では動植物などの具体物、3年になると抽象度の高い内容になるなど、生徒の発達に応じて意図的に配置されている。
- ・年間を通して、単元のつながりの意図が明確で、前の単元での学習事項を次の単元の学習に活用できるように、系統的に単元が配置されている。
- ・2年では同じ題材を扱った2編の文章の比較読み、3年では3編の文章の比較読みを行う単元が位置づけられている。

令和6年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

書写

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：書写

2 発行者：東京書籍

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・巻頭に学習の進め方が掲載されている。「1 見つけよう 2 確かめよう 3 生かそう」の流れで学習を進めていけるよう構成がパターン化されている。
- ・「書写のかぎ」では題材のポイントが焦点化されている。
- ・導入は「読みやすく速く書くための動き」。例示は、「東」一文字。見開きで楷書と行書を並べている。自分で形を見比べることを促したあと、次ページで文字を部分に分けて行書の動きのパターンを詳細に解説している。

（2）組織・配列・分量

観点 ウ 全体の分量及び各領域の分量、配分は標準時数に照らし、無理なく指導できるよう配慮されている。

- ・楷書について10ページ学習した後、行書について11ページ学習するよう構成されている。
- ・毛筆中心の構成でありながら、毛筆練習をした文字を硬筆練習する機会も設けられており、毛筆と硬筆のバランスをとっている。
- ・毛筆練習は「日光」と「大空」の二つ。文字を変え、点画の連続から点画の変化へと意識も変化させることで行書についての深い理解ができるよう図られている。

（3）児童生徒への配慮

観点 ア 児童生徒の心身の発達段階に適応し十分な理解を図ることができるものとなっている。

- ・最初に「二、十、口、人」など画数の少ない文字を練習したあと、それらを組み合わせた文字（例：「木」「未」「味」）に進むことで無理なく学習に取り組むことができる。
- ・題材のポイントとなる箇所をしばって朱筆で示したり拡大したりしているため、視覚的に理解しやすくなっている。
- ・硬筆練習では、楷書と行書、手本を上配置してあるため視写しやすいよう配慮されている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：書写

2 発行者：三省堂

3 調査研究結果

(1) 内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・導入は「行書の特徴」。「結実」の二字を例に楷書と行書を比較。「実」は1年で習う三つの特徴を、「結」は2年で習う二つの特徴を示している。
- ・導入のページにはそれぞれの行書の特徴を解説するページが示され、行書についての学習を概観することができるようになっている。
- ・各ページは、「書き方のポイント」「題字についての学習問題」「手本」で構成され、学習の見通しがもてるよう配慮されている。

(2) 組織・配列・分量

観点 ウ 全体の分量及び各領域の分量、配分は標準時数に照らし、無理なく指導できるよう配慮されている。

- ・楷書について18ページ学習した後、行書について四つの学習課題を12ページ学習する構成になっている。
- ・毛筆練習の題字は「名月」「元気」「探究」の三つであり、それぞれ、「点画の丸み」「点画の連続」「点画の形や方向の変化」に焦点化して学習できるようにページが構成されている。
- ・学習のまとめとして、毛筆で練習したことを硬筆で練習するページが入っている。

(3) 児童生徒への配慮

観点 ア 児童生徒の心身の発達段階に適応し十分な理解を図ることができるものとなっている。

- ・各ページに二次元コードを掲載し、行書の特徴についての細かな解説や、運筆、筆使いなどを動画で確認することができる。
- ・そのため、紙面上は図や文字による詳細な説明が省かれ、すっきりしていて視認性が高い。
- ・毛筆のページには、B5版の大きさの手本が教科書の見開き左側に掲載されており、机上で書写の道具を広げた状態でも、手本を傍らにおいて練習できるよう配慮がなされている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：書写

2 発行者：教育出版

3 調査研究結果

(1) 内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・巻頭の「学習の進め方」で学習の方法が掲載され、全ての題材がこの流れで進むため、生徒が学習の見通しをもって活動に取り組むことができる。
- ・導入は「楷書と行書の違い」。例示は、「和」一文字。見開きで楷書と並べ、自分でその違いを考えることを促している。
- ・楷書と行書を五文字並べ、「全体の印象」「点画の特徴」「筆順」に違いがあることを捉えることができるよう工夫されている。

(2) 組織・配列・分量

観点 ウ 全体の分量及び各領域の分量、配分は標準時数に照らし、無理なく指導できるよう配慮されている。

- ・楷書について20ページ学習した後、行書について14ページ学習する構成になっており、学習課題が他者と比べて最も多く掲載されている。
- ・毛筆中心の構成でありながら、硬筆練習の機会も設けられバランスをとって学習することができる。
- ・毛筆練習は「大洋」「栄光」「平和」。文字を変えることで行書についての深い理解ができるよう図られている。

(3) 児童生徒への配慮

観点 ア 児童生徒の心身の発達段階に適応し十分な理解を図ることができるものとなっている。

- ・筆脈がわかるように色の濃淡や、朱墨で書いた文字を用いて、筆使いを示し、筆慣れしていない生徒にも練習しやすい配慮がある。
- ・学年ごとの単元構成は、1年では「行書の特徴を硬筆で書く」、2年では「学習活動や日常生活に生かして書く」、3年では「三年間の学習を生かして効果的に書く」となっている。
- ・発達段階に応じて、学習したことを日常生活に生かせるよう題材を工夫している。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：書写

2 発行者：光村図書

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・導入は「行書の特徴」、画数が多めの「緑」を例示、楷書と行書を並べ、その違いを考察、次ページで特徴を図示して説明となっており、深い理解に導く流れである。
- ・見開きごとに「学びのカギ」が掲載されており、早く美しく書くためのポイントや点画が変化する理由を整理して解説している。
- ・本冊の学習課題に則した硬筆練習機会を確保し、授業の段取り、姿勢や筆の持ち方を振り返るため、別紙資料が付属している。

（2）組織・配列・分量

観点 ウ 全体の分量及び各領域の分量、配分は標準時数に照らし、無理なく指導できるよう配慮されている。

- ・まず楷書を10ページ程度学習し、続いて行書を12ページ学習する構成。行書の比率が若干高め。行書について四つの学習課題を用意している。
- ・毛筆中心の構成。硬筆練習の中心は別紙資料に委ねている。年賀状の書き方や、国語との関連を意識した練習が別紙に用意されている。
- ・毛筆練習は「大木」「日光」。特徴ごとに練習教材を分けて、行書の練習機会を設けている。

（3）児童生徒への配慮

観点 ア 児童生徒の心身の発達段階に適応し十分な理解を図ることができるものとなっている。

- ・手本は、見開きで縦に置くことで、半紙と同程度のサイズで見ることが出来る。また、「点画の変化」では、擬態語で筆使いを説明し、感覚で掴む工夫で理解を促している。
- ・色の濃淡や、朱墨をイメージしたイラストを用いて、筆使いを示し、筆慣れしていない生徒にも練習しやすい配慮がある。
- ・筆慣れしている生徒には「他の文字にもチャレンジ」、左利き生徒には「左手での筆使い」などの二次元コンテンツも用意されている。

令和6年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

地理

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：地理

2 発行者：東京書籍

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・考察テーマ→探究課題→追究の視点→まとめ活動のように節を通した追究過程がどの節においても明確に提示されていることで、学習指導要領の内容を課題解決的に身に付けていくように配慮されている。
- ・節のテーマに沿った「学習課題」が各ページに設定され、人々の生活や伝統文化・産業についての理解を深める工夫が見られる。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・「チェック＆トライ」を設定することで、学んだ知識を活用しながら、事象をさまざまな視点で考えさせる工夫が見られる。
- ・災害に対して、個人として何ができるかが提起されるなど、事象に対して主体的に学習する姿勢を育むよう配慮されている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・「聞かせて！中学生」という各地域／国の中学生のコメントが紹介されており、生徒にとって興味・関心をもちやすい配慮がされている。
- ・D-MOVEでは、動画やクイズ、ワードチェックなどさまざまなコンテンツが用意されており、生徒の興味や関心を高める工夫が見られる。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：地理

2 発行者：教育出版

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・「学習のまとめと表現」では、社会的事象や地域の課題を関連付けさせながらまとめる工夫があるなど、学習指導要領の内容を生徒が確実に身に付けるための配慮がされている。
- ・本文ページに設定されている「学習課題」は、学習指導要領に明記された伝統文化や人々の生活や文化、地域の伝統、産業、人口等にふれた内容であり、学習指導要領の内容を確実に身に付けられるよう配慮されている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・「持続可能な社会に向けて クロスロードV」では、主体的に事象を考察する学習を通して、さまざまな視点で考える力を育む工夫が見られる。
- ・節のまとめとして終末に設定されている「学習のまとめと表現」では、これまで学習してきた内容を振り返りながらまとめさせる手法により、思考力や判断力、学びに向かう力を育む工夫が見られる。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・社会的事象の変化が分かる写真が多く掲載されるなど、生徒が興味・関心をもつように配慮されている。
- ・写真や地図、グラフなどの資料が多く掲載されていることで視覚的効果を高め、生徒の興味や関心を高める工夫が見られる。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：地理

2 発行者：帝国書院

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・「地図帳活用」のコーナーが設定され、自然環境や産業、人口などを、地図帳を活用しながら学習することで、学習指導要領の内容を生徒が確実に身に付けていくための配慮がされている。
- ・いずれの節においても、学習のまとめとして「学習を振り返ろう」が設定され、学習内容が確実に身に付いているか確認できるよう配慮されている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・「未来に向けて」や「アクティブ地理」などのコーナーで、SDGsに向けた取組が紹介され、これからの社会の変化に対応できる思考力、判断力、表現力を育む学習が組み込まれている。
- ・節の問いに合わせた「学習課題」が各ページに設定され、いずれの課題も人々の営みにかかわる要素（産業、文化、伝統など）と関連させながら、課題を追究できるよう配慮されている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・導入の資料とともにキャラクターによる吹き出しコメントがあり、生徒が興味・関心をもてるような配慮がされている。
- ・写真がどのページにも多く掲載され、生徒の興味や関心を高める工夫が見られる。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：地理

2 発行者：日本文教

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・「見方・考え方」が各ページに示されていて、社会的事象を有機的に関連付けることを意識させるなど、学習指導要領の内容を確実に身に付けさせるための配慮がされている。
- ・学習指導要領の「内容の取り扱い」で示されている地域の持続可能な社会づくりの視点をふまえ「持続可能な地域をめざして」が節ごとに設定され、SDGsに関連した内容を学ぶ機会が設けられている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・節の終末に設定されている「議論してみよう」のコーナーでは、他者との話し合いを通して、これからの社会の変化に対応できる思考力、判断力、表現力を育む学習が組み込まれている。
- ・「まとめとふり返し」では、節の問いについて自分の考えをまとめる質問があり、その節で学んだ学習内容を活用する力（学びに向かう力）を育成しようとする工夫が見られる。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・その地域の人々の生活がイメージできる写真資料が多く掲載され、視覚を通して生徒の興味・関心を高める工夫が見られる。
- ・節の問いを解決するために「なぜ」を用いた問いを設定する学習が組まれていることで、社会的事象を自分事として捉えさせ、興味・関心を高めようとする配慮がされている。

令和6年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

歴史

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：歴史

2 発行者：東京書籍

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・「チェック」や「トライ」というコーナーがあり、重要事項を確実に押さえ、理解して説明させるための工夫がある。
- ・学習の理解や追究を助け、イメージを膨らませる効果的な資料（絵、地図、写真等）が見やすく提示されている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・絵画資料だけでなく、文章資料も組み込み、複数の資料を関連させながら提示する等、生徒の思考や判断を助けるための工夫がされている。
- ・社会的事象の変化や現代へのつながりが意識されるような学習課題が設定されている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・どのページにも年表が掲載されており、常に生徒に時間軸を意識させるレイアウトとなっている。
- ・本文を補足し、追究を助け、興味・関心を高めるために効果的な資料が用意されている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：歴史

2 発行者：教育出版

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮がされている。

- ・年表が学習タイトル名の上に記載されており、生徒が時代の流れを意識して学習をすすめる工夫がされている。
- ・節ごとに課題を振り返るコーナー（節をとらえる）が設定されており、学習内容を整理する工夫がされている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・章のまとめが三段階で発展的な構成となっており、歴史的な見方、考え方を育むものとなっている。また、絵や図を用いて次章の導入につなげる工夫により、生徒の思考力を深めるものとなっている。
- ・導入の資料や吹き出しによるコメントにより、学習課題を追究しやすくなるように工夫されている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・学習のタイトル名に生徒の興味・関心を高め、引きつけるような工夫がされている。
- ・節の終わりに「歴史を探ろう」コーナーがあり、当時の人々の思いや、事象に込められた意味などが記載され、生徒の興味・関心を高める配慮がされている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：歴史

2 発行者：帝国書院

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・「世界とのつながりを考えよう～地図編～」（全4つ）が、地図を通して同じ時代のできごとを読み取ることができ、視覚的に生徒の理解を深める配慮がされている。
- ・資料（絵・写真）に、補足説明が記載され、生徒の理解を促すものとなっている。また、難しい用語の説明を効果的に取り入れている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・章のまとめが、次の時代の見通しの補助となるよう工夫されており、学んだことを主体的に生かそうとする学習構成になっている。
- ・過去の出来事（当時の歴史）の学びを、現在・未来に関連づけた資料として紹介し、実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能を育む学習が適切に組み込まれている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・「世界とのつながりを考えよう～イラスト編～」や「タイムトラベル」のコーナーで、わかりやすいイラストにより、時代の特色を視覚的に捉え、興味・関心を高める工夫がされている。
- ・各ページの年表が、時間軸を意識させるレイアウトとなっており、生徒の興味・関心を高める配慮がされている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：歴史

2 発行者：山川出版

3 調査研究結果

(1) 内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・教科書の本文が詳細であり、より深く理解することと歴史の流れをより正確につかむことができるように配慮されている。
- ・比較的難しい用語の解説が組み込まれており、生徒の理解を助けるものとなっている。

(2) 組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・学習タイトル名の下に学習課題に関わるグラフ等の資料があり、読み取りや思考を助ける視点を与える補助発問が用意されている。
- ・国同士の相互のつながりや過去から未来へのつながりについて思考できるように意図された「ステップアップ」というコーナーがある。

(3) 児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・コラムの内容が学習の背景に触れているため、興味深く視野を広げるものとなっている。また、挿絵も生徒の目を引くものとなっている。
- ・歴史的な場所の現在の様子を写真で提示することで、想像力や興味・関心を高める手立てとしている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：歴史

2 発行者：日本文教

3 調査研究結果

(1) 内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・見開き1ページに二次元コードがあり、関連動画やスライド、確認テストにアクセスでき、学習内容の理解を助ける配慮がされている。
- ・見開き1ページに関連する日本と世界の主なできごとが年表になって掲載されており、できごとのつながりが理解しやすいように配慮されている。

(2) 組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・単元の最初に世界的視野で問いを立て、学習の見通しをもつ工夫があり、生徒が主体的に学習に取り組める構成になっている。
- ・学習課題を解決していくための見方・考え方が掲載されており、生徒が主体的に課題を解決しようとする態度を養っていくことができる構成になっている。

(3) 児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・「歴史を掘り下げる」のコーナーでは、人物や仕事等にスポットを当てて現代にもつながる内容を扱うことで、切実感や必要感をもたせる工夫がされている。
- ・見開き1ページの右側に、一目で学習している時代が分かるように年表が掲載されており、常に時間軸を意識した学習ができるようになっている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：歴史

2 発行者：自由社

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・各章の最初に、「登場人物紹介コーナー」が掲載されており、人物を切り口として小学校での学びとのつながりを持たせるように配慮されている。
- ・要所で登場するキャラクターの発言や補助発問が、学びの整理や思考を深めるツールとして役立つように配慮されている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・各章の最後に「時代の特徴を考えるページ」があり、時代の特徴を様々な視点から捉えさせる工夫が充実しており、思考力、判断力、表現力や学びに向かう力、人間性などを育む学習が組み込まれている。
- ・「外の目から見た日本」では、外国人は日本をどう見ていたかを紹介することで、事象を多面的・多角的に考察させ、思考を深める場を設定している。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・各時代に活躍した人物写真の掲載が充実しており、興味・関心を引き出す配慮がされている。
- ・所々に「人物クローズアップ」のコラムで歴史人物の生き方や考え方が紹介されており、人々の営みが感じられるような工夫がされている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：歴史

2 発行者：育鵬社

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・生徒にとって難しい用語の解説が適切に組み込まれ、生徒の学習理解を促すために配慮されている。
- ・見開き1ページの最後に「確認」と「探究」のコーナーがあり、学習内容を整理するよう配慮されている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・章のはじめに、イラストと単元を貫く課題が提示されており、時代を大観する学習の工夫がされている。
- ・「地域の歴史を調べてみよう」（全2つ）で、地域学習のページが組み込まれ、調べ方の学習ができるようになっている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・全体的に資料が豊富で視覚的に学習内容をつかみやすく、生徒の興味・関心に対する配慮がされている。
- ・各ページの下部に年表が記載され、時間軸を意識したレイアウトにより、生徒の興味・関心に対する配慮がされている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：歴史

2 発行者：学び舎

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・各章の始めに、章のテーマに沿った世界地図が掲載されており、世界的視野を培うような配慮がされている。また、関連する各国のできごとを紹介し、世界のつながりが実感できるように工夫されている。
- ・各章の章末に、「第○章をふりかえる」のコーナーが掲載されており、本章でのポイントをまとめ、学習が整理できるように配慮されている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・学びを深める思考ツールとして、歴史の背景が伺えるようなエピソードやコラムが掲載されている。
- ・各章の始めに掲載されている「学習課題」のコーナーでは、時代の特徴や単元を通した課題がわかりやすい文章で表現されており、本単元で何を学んでいくのか、生徒が見通しを持ちやすい工夫がされている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・題材名（タイトル）が特徴的で、生徒が身近に感じやすい語句などが用いられており、興味・関心を引きつけるように工夫されている。
- ・教科書本文が、当時の人々の思いや言葉で書かれている箇所が多く、営みが感じられやすい工夫がされている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：歴史

2 発行者：令和書籍

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・全体として日本の伝統や文化の特色に重点をおいた本文の記述や資料の提示が見られる。
- ・学習にあたり、重要なキーワードについて詳細な説明があり、その数も多く、理解を助けるための工夫がされている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・最初に「課題」が記述されており、本文が始まっている。本文の記述は「課題」に対応し、これを解決してわかりやすく理解するための構成になっている。
- ・歴史のまとめ方や調べ方について、多様で特徴的な視点からのアプローチがある。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・興味や関心を高めるようなコラム（福沢諭吉の母は偉かった等）がある。内容は道徳的な要素も含んでいる。
- ・歴史が好きな生徒にとって、専門的で詳細な説明や、時代を代表する美術作品が写真ページとして掲載されており、興味・関心を高めることにつながっている。

令和6年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

公民

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：公民

2 発行者：東京書籍

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・「導入の活動」のページに、「探究のステップ」として各節の課題や章の探究課題が書かれているため、生徒自身が何を学び、何を身に付けばよいのかに関して見通しをもてるよう配慮されている。
- ・各ページに学習課題が記載され、「チェック」「トライ」のまとめのコーナーがあることで、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう配慮されている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・「18歳へのステップ」のコーナーがあり、主権者教育を意識した構成になっている。主権者としての基本的な心構えや実際の行動、注意など必要と思われる主権者教育の内容がコンパクトにまとめられている。
- ・単元末の「深めよう」では、「導入の活動」と同様のテーマで対話を通して考えを深める活動が組み込まれており、単元を通した自己の変容を感じ取りやすい工夫がされている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・振り返りのページでは思考ツールが活用されているため、自己の考えを筋道を立てて考えやすくなるように工夫されている。
- ・デジタルコンテンツが充実しており、家庭学習の際に補足資料としてできるように配慮されている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：公民

2 発行者：教育出版

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・見開き1ページの「学習課題」が明記されており、まとめとして「確認」「表現」に生徒が取り組むことで、学習内容の定着を図ることができるよう配慮されている。
- ・単元末に学習内容を振り返るページが設けられ、知識の確実な定着を図ることができるように配慮されている。また、二次元コードから確認問題に取り組めるようになっている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・SDGsと関連させて「持続可能な社会に向けて」というコーナーがあり、生徒が変化する社会の様子を実感できる工夫が盛り込まれている。
- ・単元末に、思考ツールを用いて考えを整理し、対話を通して思考力・判断力・表現力等を育成する工夫と、「未来のためにできること」のコーナーを設け、学習内容を自分事として捉える工夫がされている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・単元のはじめに「ウォーミングアップ！公民」のコーナーがあり、身近な例や自分の生活経験を見つめ直す活動を通して題材と出会い、学習の見通しをもてるように工夫されている。
- ・各ページの冒頭に、人物イラストと吹き出しがあり、素朴な疑問が書かれているため、生徒が関心をもって学習活動に入っていけるように工夫されている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：公民

2 発行者：帝国書院

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・「章の振り返り」が学習内容を生かした発展的な内容になっているため、知識を活用し思考力を発揮しながら取り組むことになり、各章の学習内容が身に付くように配慮されている。
- ・各ページで学ぶ内容と小学校や地理・歴史、他教科の既習事項との関連が書かれていることで、小中学校の系統性を意識することができ、生徒の思考の助けになったり、新たに学ぶことへの理解が深まったりするように工夫されている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・「アクティブ公民」では、学習内容を生かしながら問題解決学習に取り組むことができる。関連項目や見方・考え方などの生徒の思考を助ける情報が豊富なため、主体的に学習しやすくなるように配慮されている。
- ・「学習を振り返ろう」のページが充実しており、図や思考ツールを用いて振り返ることで、知識及び技能、思考力などの定着を図ることができるように工夫されている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・裏表紙に二次元コードが付けられており、生徒が家庭でも簡単にアクセスすることができ、自主学習や補足のために動画視聴する場面で活用しやすくなる工夫がされている。
- ・文中の用語にルビが多くふられており、合理的な配慮が必要な生徒に対する配慮がされている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：公民

2 発行者：日本文教

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・各ページに、学習課題とともに見方・考え方（公正、効率、希少性、分業と交換等）が具体的に記載されており、生徒が学習する際の着眼点が明確に示されている。
- ・見開き1ページごとに二次元コードがあり、生徒が学習内容を振り返ったり、理解を深めたりすることができるように工夫されている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・各章の導入部に、現実社会の出来事をモチーフにしたマンガが描かれ、そのマンガをもとに生徒が気づいたことを出し合いながら問いを立て、学習の見通しをもつことができるよう工夫されている。
- ・「明日に向かって（私たちの社会参画）」や「チャレンジ公民」のコーナーでは、18歳からの社会参画を意識した内容を取り上げ、対話を通して考えを深める場が設けられている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・各ページの冒頭で日常生活での経済活動の例がイラストや写真、図等で示されており、生徒が具体的なイメージをふくらめることができるよう工夫されている。
- ・「アクティビティ」コーナーがあり、話題性がある内容を取り上げて、生徒が日常生活とのつながりを実感しながら学ぶ工夫が施されている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：公民

2 発行者：自由社

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・見開き1ページの右下に「ここがポイント」のコーナーが設けられ、該当ページの学習内容の要約が記載されているため、生徒が学習内容のポイントをつかむことができるよう配慮されている。
- ・「もっと知りたい」コーナーでは、現在の制度やしくみの背景を解説することで、生徒が理解を深めることができるよう配慮されている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・経済分野の単元末に「アクティブに深めよう」のコーナーが設けられ、経済分野で学習した内容を生かして企画書を作る学習活動が組み込まれている。
- ・「やってみよう」のコーナーでは、論争的なテーマを提示し、対話活動を通して考えを深める場を設けている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・「ミニ知識」のコーナーで、現実の社会で話題になっている内容を取り上げることで、生徒の興味・関心を高め、日常生活とのつながりを実感できるような工夫を施している。
- ・グラフや図表が比較的大きく提示されているため、配慮が必要な生徒にとっても見やすくわかりやすいつくりになっている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：公民

2 発行者：育鵬社

3 調査研究結果

(1) 内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・各章のはじめに単元を通した課題が明記されているため、生徒が見通しをもった状態で学習に入ることができるよう配慮されている。
- ・最新の写真が資料として掲載されているため、社会的事象に対する関心を高め、社会的事象を多面的・多角的に考察することができるように工夫されている。

(2) 組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・単元の導入ではロールプレイや身近な課題について考える活動を行い、学習を進める中で、社会全体や未来の自分について既習事項を使って考える活動を行うというように発展的に構成されている。
- ・章末の「経済のこれから」に生徒が取り組むことで、学んだことを基に現在の課題と未来への取り組みについて考え、学びに向かう力、人間性を育むことができるよう工夫されている。

(3) 児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・コラムコーナーが充実しており、現代社会の特徴を捉える上で欠くことのできない社会問題や社会の変化、注目されている分野を取り扱うことで、生徒の興味・関心を高める工夫をしている。
- ・資料が色鮮やかで見やすく、生徒が一度は見たことのある写真や親しみのわく写真が多く使用されており、興味・関心を引きつける工夫がされている。

令和6年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

地図

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：地図

2 発行者：東京書籍

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくための配慮がされている。

- ・学習指導要領で示す内容（①自然環境②人口③資源・エネルギーと産業④交通・通信）に関連する資料が各地域のページに網羅され、身に付けるべき学習内容の定着を助ける工夫が見られる。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・キャラクター（ミツバチ）の問いを設定し、地図を活用しながら各地域の特性（自然環境、産業、人口など）を理解し、実生活に生かせる学習となるよう配慮されている。
- ・SDGsについて自分にできることを考えたり、地域の資料としてSDGsに関わる資料が用意されたりするなど、これからの社会の変化にも対応できる思考力、判断力、表現力などを育む学習が適切に組み込まれている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・主題図（特定のテーマに関する資料を掲載した地図）や写真などの資料を大きく掲載するなど、生徒が関心をもちやすくするための配慮がされている。
- ・各地の特産物や主要産業がイラストで描かれ、地域の特性を視覚的に捉えられる工夫が見られる。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：地図

2 発行者：帝国書院

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくための配慮がされている。

- ・地域の資料として、自然、人口、産業、SDGsなどに関わる基礎的な資料や地域の特徴を把握するための発展的な資料が掲載されるなど、学習内容を生徒が確実に身に付けていくための配慮がされている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・「地図で発見！」では地図を活用しながら解決していくような課題が設定され、思考力や判断力、表現力を高める工夫が見られる。
- ・SDGsに関わる内容が豊富に取り扱われており、持続可能な社会を考えていくことで、これからの社会の変化にも対応できる思考力、判断力、表現力などを育む学習が適切に組み込まれている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・地域全体をながめるページでは、地図上に産業や文化などの特徴が分かるイラストが大きく示されるなど生徒の興味・関心に対する配慮がされている。
- ・地形や産業、都市に関連した写真が多く掲載され、視覚的に興味、関心を高める工夫が見られる。

令和 6 年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

数学

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：数学

2 発行者：東京書籍

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力、判断力・表現力、学びに向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・単元の節ごとに導入課題があり、身近な題材を取り扱っているので、生徒が意欲的に取り組める内容になっている。
- ・必ず身に付けてほしい基本的な内容に関する問題には「♡マーク」がついていて、問題の重要度を確認しながら進めることができる。

（2）組織・配列・分量

観点 ア 教材は、系統的・発展的に組織され、他教材・他学年・他教科との関連が考慮されている。

- ・巻末の「数学の目でふり返ろう」では、いろいろな学年で問題を解決するときに使った数学的な見方・考え方の共通点を示している。
- ・全国学力・学習状況調査の結果を分析し、生徒が特に間違えやすい問題について、類似した問題を扱っている。

（3）児童生徒への配慮

観点 ウ 家庭学習に主体的に取り組めるようになっている。

- ・大切にしたい数学的な見方・考え方を4名の生徒キャラクターが話す形でわかりやすく示すことで、付けたい力を確認しながら主体的に取り組むことができるようになっている。
- ・動画・解答・類題・巻末の前学年のふり返りなど、すべての問題に対応した二次元コードがあり、類題を5題解くことができる「フラッシュカード」は○×形式で解説を見ながら主体的に取り組めるものになっている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：数学

2 発行者：大日本図書

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力、判断力・表現力、学びに向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・課題ごとに「めあて」が明記されているので、生徒が見通しを立てて主体的に取り組める構成になっている。
- ・導入問題の横に「問題を見いだす」「解決のしかたを探る」「解決する」「深める」の表記があり、生徒の思考の流れを助ける表記がされている。

（2）組織・配列・分量

観点 ア 教材は、系統的・発展組織され、他教材・他学年・他教科との関連が考慮されている。

- ・巻末の「MATHFUL」では、他教科との関連や生活と数学の結びつきなどが示され、数学に対する興味・関心を高める工夫がある。
- ・目次で系統性が丁寧に示されている。関連する領域を連続で学習する構成にし、生徒の思考がつながるように配慮している。

（3）児童生徒への配慮

観点 ウ 家庭学習に主体的に取り組めるようになっている。

- ・見開きの2ページで1つの「学習のめあて」に対して「活動（例題）・問題」、「まとめ」などで構成されていて、予習・復習に取り組みやすくなっている。
- ・問の右側にある補充問題「プラス・ワン」を利用することで復習すべき問題が明確になり、生徒の学習進度に合わせた活用ができるようになっている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：数学

2 発行者：学校図書

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力、判断力・表現力、学びに向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・章末の自己評価で身に付いた内容を確認することができ、生徒の学びに向かう力を引き出しやすい構成になっている。
- ・生徒同士の対話を吹き出しやイラストで提示してあり、協働的な学びを取り入れやすくなっている。

（2）組織・配列・分量

観点 ア 教材は、系統的・発展的に組織され、他教材・他学年・他教科との関連が考慮されている。

- ・章の学習に入る前の「ふりかえり」のページを充実させ、既習事項の確認や新たな問題を考える際の手助けになっている。
- ・巻末の「疑問を考えよう」では、他教科や今日的な課題と関連する題材を取り上げ、数学の面白さを発見できるような構成となっている。

（3）児童生徒への配慮

観点 ウ 家庭学習に主体的に取り組めるようになっている。

- ・数学的な見方・考え方の「抽象・類推・帰納など」を右隅に同じマークで表示し、わかりやすい言葉で説明することで、付けたい力を意識して確認しながら主体的に取り組むことができる。
- ・「映像」「解答」など10種類の見出しを付けた二次元コードやチャット形式の質問ができる「マスマス」があり、生徒の学習進度に合わせた活用ができるようになっている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：数学

2 発行者：教育出版

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力、判断力・表現力、学びに向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・重要な事柄や定義・定理は色を付けて囲っていて、見やすく目を引く構成となっている。
- ・課題に対する問いを「?」、わかったことや発見を「!」で表し、問いをもって解決していくという主体的で深い学びにつながる構成となっている。

（2）組織・配列・分量

観点 ア 教材は、系統的・発展的に組織され、他教材・他学年・他教科との関連が考慮されている。

- ・「〇〇を学習する前に」では、これから学ぶ内容につながる問題に取り組み、これまでの学習を振り返ることができるようにしている。
- ・「数学の広場」では、他教科や今日的な課題と数学とが関連する課題が取り上げられ、数学の面白さを発見できるような構成になっている。

（3）児童生徒への配慮

観点 ウ 家庭学習に主体的に取り組めるようになっている。

- ・「学びのプロセス」が問題や解答の右横に示されることで数学が目指す協働的な学び方を実感することができる。
- ・単元末の「学習のまとめ」では、穴埋め形式で短時間に学習した内容をふり返ることができ、二次元コードで答え合わせができる。巻末「学びのマップ」は、生徒自ら前学年までに学習してきたことを確認でき、つまづきポイントを動画で学習をすることができる。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：数学

2 発行者：啓林館

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力、判断力・表現力、学びに向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・「めあて」「ひろげよう」「ふりかえり」「まとめよう」と色付き表記がされていて、生徒にとって学習の見通しがもてる構成となっている。
- ・活用問題に対して「ステップ1」「ステップ2」「ステップ3」の表記があり、段階を追って進められるので、生徒が主体的・協働的に学ぶことができる。

（2）組織・配列・分量

観点 ア 教材は、系統的・発展的に組織され、他教材・他学年・他教科との関連が考慮されている。

- ・巻末の「数学広場」では、教科を横断する課題や今日的課題を取り上げ、学習のつながりや数学の面白さを実感できるような構成となっている。
- ・例題を解く際に他学年の学習を復習することができる「ふりかえり」があり、既習事項を簡潔に示し、生徒の思考を丁寧に支援している。

（3）児童生徒への配慮

観点 ウ 家庭学習に主体的に取り組めるようになっている。

- ・学びを広げるときや問題を解決するときに役に立つ考え方を「たいせつな考え方」として8つの標識（範囲をひろげる・すでに学んだ形にする等）で示されることでわかりやすく数学的な見方・考え方を学ぶことができる。
- ・二次元コードを使って、例・例題・章末問題・巻末の補充問題などの解説動画を視聴したり、補充問題として類題に取り組んだりすることができ、生徒の学習進度に合わせた活用ができるようになっている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：数学

2 発行者：数研出版

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学び向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・章の導入で身近な場面を取り上げた問題を扱っており、生徒の興味・関心を引き出す内容となっている。
- ・吹き出しのイラストを使った考え方や解答例、「めあて」が明記されており、生徒が主体的に考えを深めることができる構成になっている。

（2）組織・配列・分量

観点 ア 教材は、系統的・発展的に組織され、他教材・他学年・他教科との関連が考慮されている。

- ・「学んだことを活用しよう」では、他教科の学習内容や生徒が興味・関心のある日常のできごとと数学との関連を実感できる構成となっている。
- ・全国学力・学習状況調査で課題があると報告されていることについて、内容を確認するだけでなく比較することで丁寧に説明している。

（3）児童生徒への配慮

観点 ウ 家庭学習に主体的に取り組めるようになっている。

- ・学習内容の理解をスムーズにするために、各章の導入部分に「ふりかえり」のページがあり、その章につながる既習事項を振り返ってから学習を進めることができる。
- ・生徒の学習進度に応じた類題を解くことのできる二次元コード「Link補充」があり、付箋モードと入力モードの選択ができ、主体的に取り組むことができるものになっている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：数学

2 発行者：日本文教

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力、判断力・表現力、学びに向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・知識・技能の定着や主体的に学習に取り組む態度を図ることができる「学びに向かう力を育てよう」という課題が設定されている。
- ・「めあて」や「大切な見方・考え方」などの重要事項が色付きで明記されており、生徒が見通しを持って取り組むことができる。

（2）組織・配列・分量

観点 ア 教材は、系統的・発展的に組織され、他教材・他学年・他教科との関連が考慮されている。

- ・例題を解く際に必要となる他学年で学習した内容について、確かめることができるような丁寧な作りになっている。
- ・「数学 マイトライ」では、SDGsと数学の関連など教科を横断する課題を取り上げ、数学のおもしろさが実感できる構成になっている。

（3）児童生徒への配慮

観点 ウ 家庭学習に主体的に取り組めるようになっている。

- ・巻末にある「ふり返しシート」や「対話シート」を使うことで、各自でその単元で学んだことのよさなどをふり返ることができたり、他の人の考えなどを書いたりして、ノートの工夫の仕方を学ぶことができる。
- ・「見る（動画）」「身につける（練習問題）」など6種類の見出しを付けた二次元コードがあり、生徒の学習進度に合わせた活用ができるようになっている。

令和6年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

理科

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：理科

2 発行者：東京書籍

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・生徒が興味を持ちやすい問題から課題を発見し、探究活動を進め、探究活動後には、課題に対する結論をキーワードを用いて自分の言葉で表現することで理解を深められる流れになっている。
- ・生徒の学びを深めるために、支援キャラクターが様々な場面で「理科の見方・考え方」のヒントを示す工夫がされている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・「学びをいかして考えよう」「学びを生活や社会に広げよう」というコーナーでは、身近な現象について学んだことを活かして考える課題が提示されているため学んだことを実生活と結びつけやすい工夫がされている。
- ・漫画、イラストを豊富に取り入れて歴史や発展的な内容など、学習指導要領外の未知の領域にも目を通しやすいように作られている。SDGsなど多様な課題にも触れているため、高い人間性を育む工夫がされている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・章のスタートに二次元コード「スタート動画」があり、学習内容に関する身のまわりの現象を視聴することができ、これから学習する内容に触れることができる。また、「これまでに学んだこと→小○」という記載があるため、以前に学習した内容との関連をもたせることができる。
- ・読み物（まちなか科学、歴史にアクセス、防災特集など）のコーナーが約20ページと充実している。目次にも示されていたので、見つけやすい。そのため、学習した内容はどんな歴史があり、どのように利用されているかなど、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：理科

2 発行者：大日本図書

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・探究活動の導入「問題を見つけよう」では、生徒が身近なことから問題を見つけ、課題を見出すことができるよう工夫されている。
- ・全体を通して、支援キャラクターの発言や生徒の会話で、生徒が自分なりに考えながら追究するためのヒントが示されている。さらに、観察・実験後には必ず「結果から考えよう」で、考察するポイントが示されている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・中単元の最初には、人間の活動と関連付けた課題が提起されており、単元での学びが生活に関係していることを意識させる工夫がされている。また、「Science Press」「暮らしの中の理科」で日常にある題材を関連付けて紹介している。
- ・単元の最後に「探究活動」として学んだことを活用して解決できる課題が提示されており、思考力・判断力・表現力を育てる工夫がされている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・導入でさまざまな力のはたらきをイラストで示しており、どのような力のはたらいているかを考える活動を通して、生徒の興味・関心につながる工夫がされている。また、これまでに学習したこと（小学校○年）という記載があるため、以前に学習した内容との関連をもたせやすい。
- ・「発展」（Science Press、Professional）のコーナーが組み込まれているため、学習内容をより深める内容や、身のまわりの生活でどのように利用されているかを知る工夫が見られ、生徒の興味・関心を高める資料となっている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：理科

2 発行者：学校図書

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・はじめにその活動の要点が整理されており、探究活動では、「気づき」から「考察」まで、科学的な考え方の流れを身に付けながら実験・考察を進めることができるよう、「科学的探究の手順」が示されている。
- ・吹き出し（生徒や先生）が充実しており、気づき・仮説・計画立案のヒントから振り返りのポイントまでがまとめられている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・単元の最初に「Can-Do List」というコーナーがあり、できるようになりたい目標が記されているため、生徒がその目標に向かって学びを進めることや、自分でできるようになったかを振り返ることができる。
- ・「実験」の手順だけでなく、結果についても写真つきで示されているため、生徒が実験・観察結果が正しかったのかを確認したり、振り返り等自学自習時にも活用したりすることができる。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・「理路整然」のコーナーが組み込まれているため、実験や観察のポイント、学習内容に対する補足などを取り扱い、生徒の興味・関心に合わせて探究するための資質・能力を高めることができる。また、教科書の最後に補充資料が50ページほど用意されており、実験観察の方法や発展的内容の資料が充実している。
- ・教科書のページに記載されている二次元コードを読み込むことで、教科書の内容をデジタルで閲覧することができ、生徒の興味・関心に合わせた解説動画の視聴も可能である。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：理科

2 発行者：教育出版

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・どの単元も、課題もしくは疑問から、探究活動に進むことができる流れになっており、考察の視点も明確化されている。
- ・生徒が実験・観察に取り組みやすいよう、目的から方法、結果、考察の視点までが1ページにまとめられており、次のページ以降を見ると結論が赤枠で端的にまとめられている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・「学習前の私」に単元の課題がわかりやすく明記されており、「学習後の私」で何ができるいればよいのか振り返ることができる。
- ・「考えよう」「話し合おう」に小さな課題が、「活用しよう」で考えて説明する課題が多く提示されている。考えたことを言葉や文章で伝えることを意識した内容になっており、思考力・判断力・表現力を育てる工夫がされている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・単元の節ごとに「疑問」や「疑問を見つける」という表示が示されており、生活と関連付ける課題の表し方となっている。そのため、どの学習内容に対しても生徒の興味・関心を引き付けるような工夫が見られる。また、章のはじめに「これまでの学習 小○」という記載があるため、以前に学習した内容との関連をもたせることができる。
- ・「ハローサイエンス」、「広がる科学の世界」のコーナーが組み込まれている。そのため、学習内容が身のまわりの生活でどのように利用されているかを知ることができ、興味・関心を高める事ができる。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：理科

2 発行者：啓林館

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

- ・生徒が「学ぶ前にトライ!」、「学んだ後にリトライ!」で自分の学びの変容を知ることができるとともに、各章末に学習内容と学び方を振り返るための、「Reviewふり返ろう」がある。
- ・仮説・計画の場面では、見方・考え方の正解ではなく、生徒が自ら考えるためのヒントが示されている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・既習事項をもとに考える課題「Actionー活用してみよう」があり、学んだ内容を新たに活用する場面が示されている。
- ・単元の流れの中の「探Q実験」では、生徒が自分たちで実験方法を考える構成になっている。また、単元の最後の「みんなで探Qクラブ」では、生活に関係ある題材を取り上げて課題を提起している。どちらも既習知識を活用して学びを深め、思考力を高める工夫がされている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・章の中には「〇〇ラボ」（深める、防災減災、お料理）のコーナーが組み込まれているため、学習内容が身のまわりの生活でどのように活用されているかを知ることができる。例として「防災減災ラボ」というコーナーでは、ガスの気体の密度の違いから警報機の設置位置にも触れている。
- ・内容の中にはデジタルコンテンツ対応の箇所があり、ICTを活用して学習に役立つweb上のコンテンツを利用することができる。例として、問題や解説動画、回路図を書くコンテンツ、発表用スライドなど様々なコンテンツがあり充実している。

令和6年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

音楽一般

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：音楽一般

2 発行者：教育出版

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・教材ごとに、知識及び技能と思考力、判断力、表現力等の目標が示されており、生徒の実態に応じた授業展開を工夫できる。
- ・音楽を形づくっている要素を絞ったワークシートが提示され、着目する点を明確にして、音楽の特徴を理解したり（知識）、知覚・感受したり（思考・判断・表現）することができる。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・複数の教材を比較できる配列になっており、共通点や相違点を考えながら音楽の特徴を理解したり、表現を工夫したりできる。
- ・3学年で共通した題材が設定されており、各学年で身に付けた資質・能力を生かして学習することができる。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている」

- ・二次元コードから関連動画や音源を視聴できるようになっており、学校や家庭で端末を利用して学習の振り返りを行うことができる。
- ・発声や指揮法などの技能について、複数のイラストで説明されており、動きや体の使い方がイメージできるよう配慮されている。
- ・巻末に見開きの資料が配置され、大きな写真や端的な説明で見やすく構成されており、生徒の興味・関心に応じて活用することができる。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：音楽一般

2 発行者：教育芸術社

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・資質・能力と各教材とのつながりが一覧になっており、三つの力のバランスを考えながら題材を構想することができる。
- ・音楽の特徴（知識）と表現の工夫（思考・判断・表現）との関連や、技能習得のポイントがワークシートにまとめられており、資質・能力を一体的に育成できるようになっている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・3年間で段階的に学習できる選曲がされており、身に付けた資質・能力を活用しながら学ぶことができる。
- ・巻末に学習を振り返るページが設定されており、学んだことを活用して身近にある音楽を捉えたり、今後の音楽との関わりを考えたりすることができる。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・二次元コードから関連動画や音源を視聴できるようになっており、学校や家庭でも端末などを利用して学習の振り返りをすることができる。
- ・イラストや吹き出しで考えるヒントが示されており、自分で考えることが苦手な生徒への配慮がされている。
- ・様々なジャンルや時代の曲が選曲されており、多様な音楽に触れることで音楽への興味・関心をもつことができる。

令和6年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

器楽合奏

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：器楽合奏

2 発行者：教育出版

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

- ・教材ごとに目標が示されており、生徒の実態に応じた授業展開の工夫ができる。
- ・和楽器では歌唱や鑑賞領域の教材と併せて指導できるよう設定されており、表現と鑑賞を関連付けながら学習することができる。

（2）組織・配列・分量

観点 ア 教材は、系統的・発展的に組織され、他教材・他学年・他教科との関連が考慮されている。

- ・目標がスモールステップで設定され、段階的に技能を身に付けることができる。
- ・同一の楽曲が異なる楽器の教材として掲載されており、楽器のもつ雰囲気や音色の違いを比較できるようになっている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・巻末の見開きに、リコーダーやギターの運指表が一覧でまとめられており、生徒が必要に応じて調べることができる。
- ・各楽器の奏法が伝わるように、角度や大きさに配慮した写真が豊富に用いられ、写真から演奏方法を理解することができる。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：器楽合奏

2 発行者：教育芸術社

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

- ・器楽分野の内容と各教材とのつながりが一覧になっており、教師が指導事項を考えながら題材を構想することができる。
- ・学習を進める上での生徒のつまずきを予想し、Q&Aで取り上げており、指導のポイントを意識して授業づくりをすることができる。

（2）組織・配列・分量

観点 ア 教材は、系統的・発展的に組織され、他教材・他学年・他教科との関連が考慮されている。

- ・リコーダーでは早い段階でアンサンブル曲が掲載されており、習得した技能を活用して演奏することができる。
- ・アンサンブルのページが充実しており、様々な楽器の組み合わせで演奏することができる。そのための打楽器の奏法に関する説明も豊富である。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・和楽器で扱う楽曲が生徒に馴染みのある曲を選曲しており、興味をもって和楽器に取り組めるように配慮がされている。
- ・二次元コードから伴奏が視聴できるようになっており、教科書の曲に興味をもった生徒が、どのような場面でも演奏を楽しむことができる。

令和6年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

美術

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：美術

2 発行者：開隆堂

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

【自画像の題材について】

- ・描写力の高い生徒作品が多く掲載されており、写実表現が得意であったり、興味関心があったりする生徒にとって目指したくなる目標になる。
- ・吹き出しコメントで、写実以外の表現方法が紹介されている。
- ・生徒作品とともに、思考ツール（マインドマップ）が掲載されており、生徒が主題を生み出す手がかりになる。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

【社会と関わるデザインの題材について】

- ・「インクルーシブな社会の実現へ」のページでは、分身ロボットカフェや点字ブロックのデザインプロジェクトなど、最新の事例を多く掲載し、社会とつながるデザインのよさを知る紙面となっている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・表紙に作品の質感や筆跡を触覚で楽しめる加工を施すことで、美術の授業に興味・関心をもって臨むことができる。
- ・写真を中心にしたインパクトのあるレイアウトが多く、感覚的に生徒の興味を刺激する紙面になっている。
- ・中学生にとって親しみのある漫画やアニメの作品を効果的に掲載することで、生徒の生活と美術文化をつなげることができる。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：美術

2 発行者：光村図書

3 調査研究結果

(1) 内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

【自画像の題材について】

- ・生徒参考作品がさまざまなバリエーションの表現であるため、生徒の発想の幅が広がる。
- ・生徒作品ごとの見出しや、制作過程の吹き出しなど、等身大の言葉で主題や思いが紹介されているため、生徒にとって題材が自分事になる。
- ・制作過程が詳しく掲載されており、完成に至るまでの工夫や試行錯誤の様子を知ることができる。

(2) 組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

【社会と関わるデザインの題材について】

- ・「防災のデザイン」のページが新設され、防災に関連するデザイン作品が掲載されている。命を守るためにデザインの力が生かされている実例を通して、デザインの可能性について学ぶことができる構成となっている。

(3) 児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・日本美術を特集したページについて、他ページとは違う和紙のような質感の用紙を使い、より本物らしい見た目や触り心地を感じることができる。
- ・キーワードごとにまとめた構成や日本風のフォントを使用するなど、日本美術の魅力を感じ取る工夫が随所に見られる。
- ・従来各学年の教科書内にあった資料のページをコンパクトな別冊にまとめたことで、3年間の学習の中で主体的に活用することができる。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：美術

2 発行者：日本文教

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

【自画像の題材について】

- ・「学びの目標」や「造形的な視点」がわかりやすく表記されているため、生徒も教師も付けたい力が明確になる。
- ・「表現のヒント」として、自己分析シートやICTの活用が紹介されており、生徒がつまづく場面で教師が支援する手がかりとなる。
- ・限られた時間で取り組める短時間題材が掲載されている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実生活の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

【社会と関わるデザインの題材について】

- ・2・3年下のデザイン分野の最後に「住み続けられる町づくり」という題材を掲載することで、3年間の美術の学びが社会とつながっていることを意識することができる配列になっている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・折って立てることで六曲の屏風絵の鑑賞ができる造本上の工夫がされており、平面で鑑賞するよりも、本物に近い形でよさを実感できる。
- ・白地が多くすっきりとした紙面になっているため、掲載されている作品の写真が見やすい。
- ・美術の専門家だけではなく、美術の学びを生かしながら多方面で活躍する著名人のインタビューが掲載されている。

令和6年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

保健体育

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：保健体育

2 発行者：東京書籍

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身につけていくために配慮されている。

- ・ ページ冒頭に書き込み資料や学習課題による工夫された発問があり、生徒が本時の学習内容を把握しやすくなっている。
- ・ 項目ごとに振り返り用のスライド動画が添付されており、本時の内容を理解しやすくなっている。

（2）組織・配列・分量

観点 ウ 全体の分量及び各領域の分量、配分は、標準授業時数に照らし、無理なく指導できるよう配慮されている。

- ・ 1時間あたり2ページの構成を基本とすることで、教材の分量が適量になるように配置されている。学習の時間を十分に確保でき、余裕をもって指導することができる。
- ・ 写真や図など充実した資料を活用して、対話的な活動の時間が十分確保できるようになっている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・ 「見つける→学習課題→課題の解決→活用する→広げる」と学習の進み方がわかりやすく構成されており、見通しをもった学習ができる。
- ・ 身近な場面を想定した図や写真を活用することで、関心をもって取り組める内容にしている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：保健体育

2 発行者：大日本図書

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身につけていくために配慮されている。

- ・ 単元ごとに重要な語句を「キーワード」という形でまとめてあり、振り返りができる。
- ・ 各章末の「学びを活かそう」では、学習した内容を振り返りながら、個人の実生活をもとに考えを深めることができる。

（2）組織・配列・分量

観点 ウ 全体の分量及び各領域の分量、配分は、標準授業時数に照らし、無理なく指導できるよう配慮されている。

- ・ 1時間あたり2ページの構成を基本とすることで、学習の時間を十分に確保でき、余裕をもって指導することができる。
- ・ 見開きの左側に説明文、右側に資料図やグラフを分けて配置されており、各ページの役割がはっきりとしている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・ 写真、イラスト、グラフを見やすく配置をし、生活に直結する内容を分かりやすく掲載している。
- ・ 各ページ下段に補足説明の「ミニ知識」を付け加えることで、生徒の興味・関心を高め学びを広めることができるように配慮している。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：保健体育

2 発行者：大修館

3 調査研究結果

（1）内容

内容 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身につけていくために配慮されている。

- ・単元によってデジタルコンテンツの動画を効果的に配置しており、視覚的に理解が深まるように工夫されている。
- ・3観点に分かれた章末問題を用いることで、学習内容の活用方法や知識の定着度を確認することができる。

（2）組織・配列・分量

観点 ウ 全体の分量及び各領域の分量、配分は、標準授業時数に照らし、無理なく指導できるよう配慮されている。

- ・学習内容の構成が、保健分野の標準授業時数48時間に合わせ48項目で構成されており、3年間の指導を計画的に行うことができる。
- ・1時間の授業を見開き1ページで展開することで、見通しをもった指導ができる。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・各単元の「課題をつかむ」での発問は、生徒の生活経験から考えさせるものになっている。
- ・デジタルコンテンツにより、授業内容を振り返ることができ、学習の定着度を確認することができる。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：保健体育

2 発行者：学研

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身につけていくために配慮されている。

- ・「エクササイズ」や「学びを生かす」では、対話的な活動がしやすくなり、生徒の思いや考えがより深まる内容になっている。
- ・「章のまとめ」では、各章のキーワードの確認や学習内容の習熟度、知識の定着度を明確にすることができる。

（2）組織・配列・分量

観点 ウ 全体の分量及び各領域の分量、配分は、標準授業時数に照らし、無理なく指導できるよう配慮されている。

- ・1時間あたり2ページの構成を基本とすることで、学習の時間を十分に確保でき、余裕をもって指導することができる。
- ・1時間の流れが「ウォームアップ→学習の課題→エクササイズ→学びを生かす」で構成されており、考えが深まりやすく授業が組み立てやすい。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・写真や図解が多く、生徒の発達特性に応じて誰もが興味をもち、理解につながるような内容になっている。
- ・デジタルコンテンツを活用し、既習内容や関連する内容と組み合わせて学習することができる。

令和 6 年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

技術分野

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：技術分野

2 発行者：東京書籍

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

【D 情報の技術】

- ・生活や社会で利用されている技術について、メリット・デメリットの両面から考えることで、技術を利用場面に応じて適正に活用する力を身に付けることができる。
- ・問題解決のプロセスに沿った実習例が多数掲載されており、課題の解決策を構想し、実践を評価・改善する、課題を解決していく力を養うことができる。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

【C エネルギー変換の技術】

- ・実際の社会で使用されている技術について社会性や環境への影響など多面的な視点で特徴がまとめられており、思考が広がりやすいよう工夫されている。
- ・単元の終末に最先端技術の情報が端的にまとめられており、学んだことを今後に生かそうとする意欲をもたせやすい配列になっている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

【A 材料と加工の技術】

- ・例示や図がふんだんに使われており、詳細な説明が掲載されている。1ページあたりの情報量が豊富で生徒の興味・関心を高める構成となっている。
- ・数多くの画像を用いた資料が掲載され、学習意欲を高める工夫がなされている。より深く追究したい生徒には二次元コードで画像や動画が活用できる構成となっている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：技術分野

2 発行者：教育図書

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

【D 情報の技術】

- ・多くのページを割き、わかりやすいイラストを用いて問題を解決する過程が説明されているため、問題を見いだして課題を設定し解決する力を身に付けることができる。
- ・領域にかかわる簡単な実習例が掲載されており、技術についての基礎的な理解を図るとともに、実践的な態度を身に付けることができる。

（2）組織・配列・分量

観察 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

【C エネルギー変換の技術】

- ・各領域の冒頭に社会や生活で使用される技術が例示されているため、領域の概容を把握した上で知識や思考力を高めていくことができるよう配列されている。
- ・学んだことを用いて身近な課題を解決するための過程が平易な表現でまとめられているため、学びの見通しを持たせやすい構成となっている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている」

【A 材料と加工の技術】

- ・イラストや写真が多用されており、視覚的に理解しやすく、生徒の興味・関心を高める構成となっている。
- ・作業工程について、概略的な説明で学習に取り組みやすい構成となっている。専門的な知識は別冊、技能は二次元コードで紐づけられた動画で補足されている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：技術分野

2 発行者：開隆堂

3 調査研究結果

（1）内容

観点 イ 各学年の目標・内容の取扱いにおいて、学習指導要領の内容を、児童生徒が確実に身に付けていくために配慮されている。

【D 情報の技術】

- ・学習課題がイラスト等とともに明示され、二次元コードでは学びの過程の全体像が確認できるため、見通しをもって課題を解決する力を身に付けることができる。
- ・情報セキュリティや、情報モラルに関する内容が豊富であり、ネットワーク上の情報に関する技術を適切に活用する能力と態度を身に付けることができる。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

【C エネルギー変換の技術】

- ・社会や生活で使用される技術の特徴や内容について図解や長短所の比較等が示されているため、思考・判断するための知識を整理しやすい工夫がなされている。
- ・課題設定＞構想＞製作＞評価の過程がわかりやすく例示されているため、学んだ内容を生かして問題解決を図るプロセスが理解しやすい配列となっている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

【A 材料と加工の技術】

- ・実習題材例と設計時に考慮すべき具体例が多く掲載されており、身近な問題の解決方法について発想を広げやすい構成となっている。
- ・見やすい図解を多用し、専門知識については参照ページや二次元コードで関連付けているため、安全安心に取り組む意識と興味・関心を高める構成となっている。

令和 6 年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

家庭分野

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：家庭分野

2 発行者：東京書籍

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

- ・社会の変化に対応した内容（高齢者に関する内容、自然災害への備え、多様な支払い方法、持続可能な社会など）が取り上げられている。特に衣食住においても、持続可能な社会に向けて、資源を有効活用したサステナブルッキングやリメイクの実習例が挙げられている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・ガイダンスで「自分の生活チェック」が設けてあり、学習前に自分にできることを把握して目標設定を行い、学習後に再チェックをすることで自分の成長を確認することができる。
- ・「考えてみよう」「やってみよう」の学びを促す活動では、表やグラフなど視覚的にわかりやすく、考えやすい工夫がなされている。また、キャラクターのセリフが生徒の考えを広げ、主体的、対話的に取り組むことを促している。
- ・「発展」ではユニバーサルデザインを大きく取り上げている。みんなが暮らしやすい社会作りに目を向けることができる。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・食生活や衣生活の実習ページでは、写真やイラストを使い、見開きで手順が流れに示されている。また、組み合わせる料理例などの発展内容についても同様の構成で統一されており、見やすく、興味を引き出す工夫が見られる。
- ・生徒の将来展望と学習内容とのつながりを深めるために、学習内容に沿って「プロに聞く！」を設定し、生徒へのメッセージ等を取り上げている。また、最終の「家庭分野の学習を終えて」の中でインタビューした17名をまとめて紹介している。
- ・豊富なデジタルコンテンツを活用し、シミュレーションを通して学習内容を深めたり、他教科の学習内容を活用できたりする。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：家庭分野

2 発行者：教育図書

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

- ・社会の変化に対応した内容（高齢者に関する内容、自然災害への備え、多様な支払い方法、持続可能な社会など）が取り上げられている。特に、キャッシュレス決済の種類や特徴、クレジットカードの仕組みが詳しくまとめられている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・「自立度チェック」を学習前に行うことで、生活から問題を見つける手がかりとなり、授業を自分事にすることができる。章末の「学びを生かそう」により、学んだことを自分の生活に置き換えて活かすことができる。
- ・「やってみよう」「考えてみよう」のコーナーは、学習をもとに身近な生活の一場面について考える内容を取り上げている。自分にできることを考える活動が多いため、学びを実践につなげることができる。
- ・「発展」として子どもの権利条約と共に児童虐待の防止（ダイヤル189）について大きく取り上げている。相談内容例が挙げられており、中学生でも相談窓口を利用できるよう工夫されている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・イメージしやすい住まいのイラストや豊富な写真など、見開きの紙面が多く、生徒の興味・関心を引き出す工夫が見られる。
- ・教科書に対応したデジタルコンテンツのワーク等や、巻末の学習シールを活用したまとめなど、生徒の主体的な学びをサポートできるような構成になっている。また、資料が豊富に掲載されている。
- ・生徒の将来展望の参考になるように、学習内容の区切りごとに1ページを使って「センパイに聞こう！」を設定し、生徒へのアドバイス等を取り上げている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：家庭分野

2 発行者：開隆堂

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

- ・社会の変化に対応した内容（高齢者に関する内容、自然災害への備え、多様な支払い方法、持続可能な社会など）が取り上げられている。加工食品を活用した料理例やポリ袋調理例をはじめ、災害時の生活を意識した内容が充実している。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・各章のはじめに、身近な生活の疑問を投げかけるクイズや問いかけが設けられているため、課題意識をもって授業に取り組むことができる。
- ・「やってみよう」「話し合ってみよう」では、生活とつながる具体的な課題を取り上げている。思考の流れに沿ったキャラクターの言葉により、見方、考え方が実生活とつながり、深い学びにつなげることができる。
- ・「発展」として、子どもを守る法律や相談窓口などを取り上げている。「参考」では、「泣いてもいいよ！ステッカー」が取り上げられ、子育てしやすい社会作りに目を向けることができる。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・食生活や衣生活の実習・製作例のページでは、誰もが見やすいように見開きで、手順が横流れに示されている。また、科学的根拠をもとにイラストや写真で視覚的に理解を深められる構成が多く見られる。
- ・生徒の生活経験や将来への展望に対する配慮として、「先輩からのエール」「地域の取り組み」「中学生の取り組み」が紹介されており、生徒の視野を広げ、実生活と結びついた効果的なメッセージとなっている。
- ・デジタルコンテンツで、生徒がより深く追究できるような画像や動画が活用できる構成になっている。また、上記「先輩からのエール」もインタビュー動画で視聴することができる。

令和 6 年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

英語

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：英語

2 発行者：東京書籍

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・各単元の始めに活動目標が明記されており、Can-Doリストが各ステージに明確に記載されているため、生徒も教師も目標を意識することができ、三つの力を3年間を通してバランスよく育むことができる。
- ・1年生の教科書では、新出語と一緒に小学校で学んだ単語のリストも一緒に掲載されているほか、小学校で学んだ表現を用いてやり取りするコーナーがあるため、小学校から中学校への学びの接続がスムーズである。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・それぞれの単元の構成が「本文→単元のまとめの活動→実生活につながる発展活動」となっており、最後に4技能の何に重点をおいた活動が明記されている。
- ・各学年、各ステージ(各学年3ステージ)の最後にStage Activityとして各学年の発達段階に応じた課題が設定されている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・登場人物が中国系カナダ人、南アフリカ出身の白人、他国にルーツをもつイギリス人と、従来のステレオタイプを崩す配慮がされている。所々に日本を含め各国の多様な文化や価値観に気づかせる配慮がある。
- ・日本のポップカルチャーや人気のアスリート、チャットでのやり取りのように生徒にとって身近で興味深い話題だけでなく、食糧問題や平和教育、世界の様々な国の紹介など、生徒の視野を広げる多岐にわたる題材が扱われている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：英語

2 発行者：開隆堂

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・各単元(Program)の扉にゴールや活動内容を明記し、各ページには現在ゴールに向けてどの段階なのかを視覚的に表していることで、生徒が学習の見通しを持ち、活動によってどのような力が育まれるのかも意識することができる。
- ・3年間を通じて、SDGsの17項目をほぼ網羅し、英語圏の国だけでなく、フィンランド、ケニア、タンザニア、オランダなど、多くの国の題材を扱うことで、生徒の視野を広げることが期待できる。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・各単元が「扉（目標の確認）→新出表現の導入→本文で扱う内容の導入→本文→振り返り→まとめの活動」で構成されており、「学習の見通しを持つ→知識・技能を身につける→思考力・判断力・表現力を伸ばす」流れになっている。
- ・3年間で8つのOur Projectがあり、発達段階に応じてそれぞれの到達目標が提示されている。（1年①自分の紹介→3年⑧ディスカッション）

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・Scenes for Basic Dialogsでは、新出表現を漫画を使用して紹介しており、生徒にとってわかりやすく日常に即した内容になっている。
- ・扱われている題材が、日本の弁当文化、有名なダンスパフォーマー、Bリーグや車椅子バスケット、ライブ配信、SNSでよく使われる英語の略語など、生徒にとって身近で興味が湧くものが多く扱われている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：英語

2 発行者：三省堂

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・単元を通して自己表現するための内容やヒントを見つけたり、使える英語表現を身に付けたりしながら、必要な力を段階的に学習できる構成になっている。
- ・各パートに生徒が主体的に考え、表現できるような課題が設定されているため、生徒が思考・判断し、学んだことを生かして表現できるよう工夫されている。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・各単元において、本文1に関連の日常会話→本文1→本文2に関連の日常会話→本文2→おまけの話という構成になっている。生徒の興味関心を高めた後、新しい単語や表現、内容等、理解を徐々に深めることができる。
- ・各パートにおいて題材に関連した即興のやり取りが構成されている。単元終末では、さらに表現を広げ、会話を長く続けたり、議論を深めたりすることができる。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・生徒が親しみをもって題材に触れることができるように、各単元がキャラクターによる題材に関連した日常的な会話から始まっている。そのため普段馴染みのない社会問題等についても生徒が自然に考えるきっかけとなるように工夫されている。
- ・生徒が楽しみながら新しい文構造や表現についてさらに理解が深まるように短い漫画が盛り込まれている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：英語

2 発行者：教育出版

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・各単元・パートにおいて新しい単語や表現を通して知識・技能が、内容理解のポイントや自己表現活動を通して思考力・判断力・表現力が、本文の内容理解を通して学びに向かう力・人間性が身に付くようバランスよく設定されている。
- ・各単元において、単元始めの目標明示、単元末の振り返りにより、単元を通じて生徒が目標に向かって見通しをもち学習することができる。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力、学んだことを生かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・単元のまとめが充実している。単元終末において、まとめの課題、文法のまとめ、振り返りが設けられ、生徒が身に付けた力を自身が実感できるように工夫されている。
- ・実際の会話に活かせる英語表現が習得できるように工夫されている。即興的なやり取りや日常的な場面を想定した表現を使う活動等、生きて働く力の習得に向けた充実が図られている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・生徒の発達段階に応じて、身近な話題から多様な社会・文化への理解まで幅広い内容について扱っているため、生徒が興味・関心をもって学習できるように工夫されている。
- ・他教科と関連のある題材、SDGs等を意識した題材を構成することで、英語をツールとして生徒がより深い学びができる。持続可能な社会の創り手としての態度を養うことが期待できる。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：英語

2 発行者：光村図書

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・目的・場面・状況が明確な言語活動が工夫して設定されており、本文の内容について自分の考えを話したり書いたりする活動が充実している。
- ・各単元で身に付けたい力を生徒と教師が共有するために、巻末のCan doリストを活用できる。また、各単元で「聞く」「読む」「話す」「書く」のうち、何に重きを置くかが明確で、単元終了時に自己評価をすることで成果と課題を明確にし、次の学びにつなげることができる。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・各学年にDaily Lifeが4つから7つ配列されており、「店での注文」「道案内」など、日常生活の様々な場面で活用できる表現についてじっくりと学ぶことができる。
- ・各単元の「話す」「書く」のアウトプットの学習場面で、「About you」を扱うことによって、題材を自分事に引き寄せ、英語で発信する力を付けることができる。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・各単元において修学旅行や合唱コンクールなどの学校生活、あるいはAIの活用、災害教育についてなど身近な題材を扱い、生徒の興味・関心を高める工夫が見られる。
- ・親近感のわく登場人物が設定されており、その登場人物のセリフや行動の1つ1つが、中学生の日常によく起こる出来事を扱っているため、共感しながら学ぶことが期待される。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：英語

2 発行者：啓林館

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ウ 知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性の三つの力をバランスよく育む内容になっている。

- ・日常的な場面や社会的な話題について聞き取り、必要な情報や要点を整理する力を付けることができる。各パートに設けられているexpress yourselfを用いて、自分の身の回りのことを話題にして、必然性をもった言語活動ができる。
- ・生徒が語彙や文法を復習する時に、必要に応じてTargetの解説動画を繰り返し視聴するなど主体的に学習することが期待できる。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・環境問題や防災・安全教育など今日的な課題を題材に取り上げ、生徒個々が自分のこととして捉え、自分に何ができるかを考え、英語で表現できるよう各学年にバランスよく配列している。
- ・Unitの各パートにEnjoy Chattingを設定し、本文内容に関連するトピックを扱い、即興的なやり取りをする力を付ける工夫をしている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・転校生やオンライン交流から、ハワイやシンガポール、ロンドン、クスコなど世界中の魅力ある都市について学ぶ題材がたくさんあり、生徒の興味・関心を引きつけることが期待される。
- ・日本と海外の特徴的な伝統や文化などを比較したり、共通した課題について考えたりするなど、生徒が実生活や毎日のニュースで見聞きし、関心が高い諸課題について考えることができるため、主体的に学びたくなる工夫がある。

令和6年度

静岡地区
教科書調査研究報告書

中学校

道徳

静岡地区教科用図書研究委員会

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：道徳

2 発行者：東京書籍

3 調査研究結果

(1) 内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

- ・内容項目や学習のテーマごとに、各学年の発達段階に即して、計画的、発展的に教材を深めている。
- ・いじめ防止や生命の尊厳など、現代的な課題を題材とした教材を複数取り上げ、身近な社会問題を自分との関係において考えられるように構成している。

(2) 組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・学校行事や生徒の生活実態に合わせ、指導内容と指導時期を考慮して教材が配列されている。
- ・「いじめのない世界へ」「いのちを考える」というくくりで、テーマについて複数教材で連続して学び、考えを深められるようにしている。
- ・全学年で、いじめ問題を直接的に扱う3つの教材があり、読み物教材だけでなく、イラストや漫画などでいじめ問題を多面的・多角的に考えられるようにしている。

(3) 児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・コラム「プラス」では、人間関係を学ぶソーシャルスキルトレーニングやフローチャートなどを取り入れている。また、様々なバリエーションで学習したことを広げたり、深めたりすることができる。
- ・映像、心情円、VR資料などで、視聴覚的に教材を捉えたり、友人と気持ちを共有したりできる。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：道徳

2 発行者：教育出版

3 調査研究結果

(1) 内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

- ・各学年末では「『よりよく生きる』ってなんだろう」という問いで、一年間を振り返り、道徳で学んだことを次の学年で生かす工夫がされている。
- ・全学年を通して、取り組みやすさを重視し、生徒が無理なく学習できるよう教材内容を精選し、短い教材や見てわかる教材を積極的に掲載している。

(2) 組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・異なる立場からの考えを取り上げた教材や、登場人物が判断を迫られる教材など、「問題解決的な学習」に適した教材を掲載しており、物事を多面的・多角的に考え、議論することができる。
- ・「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちをかがやかせる」というくくりで、テーマについて複数教材で連続して学び、考えを深められるようにしている。
- ・いじめや差別について多種多様な教材から考えるユニットで、いじめの加害者・被害者だけでなく、傍観者や観衆にも目を向け、広い視野からいじめ問題を考えられるようにしている。

(3) 児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・「学びの道しるべ」で自分の考えを3段階でまとめ、どの教材でも物語を通して考えを深める形式となっている。
- ・「やってみよう」でロールプレイなどの体験的な学習や問題解決的な学習を行い、コラム「ひろば」で情報モラルやSDGsなどを取り上げ、教材での学びを広げたり、深めたりできるように工夫されている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：道徳

2 発行者：光村図書

3 調査研究結果

(1) 内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

- ・「道徳で学ぶ22のキーワード」をイラストで提示し、互いのよさを尊重し、対話を大切に互いに高め合い、自ら学び続ける姿勢を育む構成となっている。
- ・1年間で目指す姿を思い描ける「道案内」では、生徒の成長に寄り添うように設定したテーマでユニットを構成し、見通しをもって学んだことを自分で評価する力を育もうとしている。

(2) 組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・学校教育活動全体を通じて行う道徳教育を意識し、行事が想定される時期に関連した道徳科の学習が行えるよう、教材が配置されている。
- ・「考えよう」「問いを立てよう」などの「学習のてびき」を設け、1時間の授業がイメージしやすい。また、道徳性を養う体験的な学習となるよう工夫がある。
- ・各学年で学級が形成される早い時期に「いじめを許さない心について考える」ユニットを設け、さまざまな内容項目の教材で、1年間を通して多面的・多角的に「いじめ問題」を考えられるようにしている。

(3) 児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・絵本、漫画、互いの価値観を葛藤させる教材、人気作家のイラストで思考を深める教材、イメージマップなど、生徒の興味を引く教材が充実している。
- ・人権と向き合うための「コラム」、問うことの楽しさを追求した思考ツール「チャレンジ」「やってみよう」、自ら学びたくなる「道案内」など、子どもが学びの楽しさを感じる工夫がある。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：道徳

2 発行者：日本文教

3 調査研究結果

（1）内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

- ・現代的な諸課題にも関わる「いじめ」「自立と共生」などの5つのテーマを基にして生徒の実生活に即した内容を扱っている。
- ・「自信を持つこと」「多様性」をコンセプトにして、「向上心」「個性の伸長」「相互理解、寛容」について教材を増やし、生徒が自分らしさを大切に、自己肯定感を高められるよう工夫している。

（2）組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・生徒が持続可能な社会のつくり手として多様な視点から学べるように「よりよい社会を考える」を構成し、「自立と共生」「環境と未来」について考えられるようにしている。
- ・「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」というくくりで、テーマについて複数教材で連続して学び、考えを深められるようにしている。
- ・いじめ問題に関して、直接的に扱う教材と間接的に考える教材で構成され、いじめが起きやすい時期に複数回配置したり、コラムで知識やスキルを身に付けたりし、多面的・多角的に考えられるようにしている。

（3）児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・教材に登場する人物が、コラムの中で生徒へ生き方について考えを深めるためのメッセージを伝えている。
- ・各学年6教材ずつ、「学びを深めよう」の教材があり、問題解決的で体験的な学習により、生徒が学びの見通しをもち、考えを広めたり、深めたりするように工夫している。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：道徳

2 発行者：学研

3 調査研究結果

(1) 内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

- ・現代的課題につながるマークを配置し、よりよい未来を切り拓く「ウェルビーイング」の実現を目指し、多くの視点から系統的に学んで自己の成長を感じられるようにしている。
- ・「生命の尊さ」を最重点テーマとして設定し、全学年で3つの教材を配置し、自分の命や周りとの関係で生と死を捉え、人権を重んじている。また、多様性を受け入れながら、他者とともによりよく生きるための内容となっている。

(2) 組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・学年ごとにテーマを設定し、生徒の発達段階を踏まえた教材で内容の深まりや視野の広がりなどを考慮し、系統的に配列している。
- ・「SDGs」「キャリア」「多様性」というくくりで、テーマについて複数教材で連続して学び、考えを深められるようにしている。
- ・いじめ防止のために、直接的・間接的に考えられる教材を掲載し、いじめ防止に多面的に取り組んでいる。

(3) 児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・スポーツ選手や著名人など、生徒の興味や関心を引くような身近な人物を多く取り上げている。
- ・コラム「クローズアップ」では、筆者の紹介や三行詩、関連資料の提示など、様々なアプローチで紹介し、多角的・多面的に考えられる工夫がされている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：道徳

2 発行者：あかつき教育

3 調査研究結果

(1) 内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

- ・読み継がれてきた定番教材、感動教材、多様な現代的課題を扱う教材など、生徒たちの心を揺さぶる教材を意識して取り上げている。
- ・「いじめを考える」「共に生きる社会」「情報モラル」「生命の大切さ」「国際理解」「キャリア」「伝統・文化」「安全・防災」「自然・環境」「スポーツ」のテーマを掲げ、発達段階に合わせて教材を適切に取り上げている。

(2) 組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「自分の生き方を考える」についての具体例を巻頭で示し、生徒が道徳科での学びをイメージし進められるように工夫している。
- ・「いじめを考える」「情報モラル」「キャリア」のくくりで、テーマについて複数教材で連続して学び、考えを深められるようにしている。
- ・いじめ防止と関わりの深い内容項目「公正、公平、社会正義」「友情、信頼」などで、様々な道徳的価値の理解を深めることを通して、いじめ防止につながるよう教材を選定している。

(3) 児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・教材のあとに「Thinking」で内容を深めたり、「マイプラス」で役割演技などの活動を通して考えたりと、全体的に読み物教材を通して考えを深める形式となっている。
- ・巻末コラムでは、教材をSDGsの視点や地域の事例を通して生徒の視野を広げる工夫がされている。

調査研究報告書（中学校）

1 教科/種目：道徳

2 発行者：日本教科書

3 調査研究結果

(1) 内容

観点 ア 学習指導要領の各教科の目標、各学年の目標・内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱いに照らし、適切な内容が精選され、取り上げられている。

- ・「いじめ・人権」「生命・健康・福祉」「環境」など8つのテーマから、道徳的心情や判断力を育てるため、3学年で発達段階に応じた教材を載せている。
- ・様々な分野や業績を残した人物が直面した葛藤を教材にしている。また、社会的・文化的な多様性、多面性を意識した教材が数多く選定されている。

(2) 組織・配列・分量

観点 イ 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力、学んだことを活かそうとする学びに向かう力、人間性などを育む学習が適切に組み込まれている。

- ・中学生の発達段階に配慮し、学年を追って教材の発問内容を深化させている。
- ・「キャリア形成」に関する教材では、発達段階に考慮し、1年時「自己理解」2年時「自己啓発」3年時「自己実現」をテーマとした教材を主に取り扱っている。
- ・いじめ問題について、学校生活の中で陥りやすい場面を取り上げ、直接的・間接的な形でテーマを取り扱っている。

(3) 児童生徒への配慮

観点 イ 児童生徒の生活経験や興味・関心に対する配慮がされている。

- ・各ユニットの扉や教材の導入部分に四コマ漫画を配置し、教材のテーマに向かう生徒にわかりやすく導いている。
- ・巻末の「ウェルビーイングカード」で、「希望」「感謝」「多様性」など、自分がいきいきと過ごすために何が大事なのかについて、友人と考えを共有したり、自分を見つめ直したりするための工夫がされている。